

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 泉崎 春海



平成26年7月号

No. 470

準備することの大切さ

副校長 井上 淳

好結果や好成績をあげたスポーツ選手がよく口にする言葉があります。それは「きちんと準備していた」です。

「準備する」とは一体どういうことでしょうか。スポーツ選手の場合は、体調管理はもちろん、技術の精度を上げたり、相手の分析をしっかりと行い、それをもとに複数の戦略をイメージしたりするといったところかもしれません。

教師の場合・・・私が担任していたころの「準備」といえば、当然、授業に関することです。毎日全授業とまではいきませんが、子供たちに教える内容やめあてを明確にし、子供一人一人の学習の実態を把握したうえで、適切な教材を作成し、発問の言葉や子供たちの反応をイメージしながら授業に臨むようにしました。このようにしっかりと準備することができた授業では、自分が納得することができる効果が得られました。「準備をきちんとできれば、その授業の90%は成功したと言っていい」と常に若手教師に話していたのを思い出します。



ところで、準備するのは大人だけではありません。スポーツや芸能などの習い事をしている子供はもちろん、すべての日常生活において準備することは大切であると思います。

例えば、学習への準備・・・「鉛筆を削る」「忘れ物をしないようにする」「身の回りを整理整頓する」などの環境面の準備があります。また、「前日までの学習内容をしっかりと理解しているようにする」「体調管理をする」「学習時はきちんと話を聞き、学ぼうとする」などの肉体面・精神面の準備もあります。これらの準備が万全な場合とそうではない場合とでは、学習後の効果の違いは歴然としてくることでしょう。

ヤンキースのイチロー選手の言葉に「準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく。そのために考え得るすべてのことをこなしていく」というのがあります。なかなか難しいことですが、「準備は成功への第1歩である」ことを常に心がけ、与えられた時間の中で準備をしっかりと行っていきたいと思います。